

報道関係各位

東京エレクトロン デバイス株式会社

2014年11月5日

inrevium

カビ発生予報クラウドシステム「Mold Forecast System (MFS)」を開発、実証実験を開始

～カビ除去費用を抑制し、建物設備維持費用の低減に寄与～

東京エレクトロン デバイス株式会社（横浜市神奈川区、代表取締役社長：栗木 康幸 以下、TED）は測定した屋内環境データをインターネット経由で収集し、カビの発生環境を分析、管理、予報を使用者に通知する「カビ発生予報クラウドシステム Mold Forecast System、以下 MFS」を開発し、11月10日より実証実験をはじめるとを公表します。

カビの種類は現在 8 万種類以上とされ、室内でカビが育つ上で必要となる温度・湿度（水分）・酸素・栄養分が適当な環境を保っていた場合、多くの人にはカビが目に見える状態となって初めて気がつきます。また、カビによるアレルギーは、アレルギー性鼻炎、気管支喘息、アトピー性皮膚炎、じんましんなどが知られています。アレルギーの原因となるカビを餌とするダニ類や微細な昆虫類の活動環境を知り増殖を抑える環境設定を行うことができれば、カビ汚染によるアレルギーの人体への影響を最小限のとどめることができます。

今回、TED が開発した「カビ発生予報クラウドシステム MFS」は、クライアントの屋内数ヶ所に設置した屋内環境センサーからデータを収集し、通信ネットワークを経由してクラウド上にデータを蓄積します。蓄積したデータをもとに環境生物学研究所（所長 農学博士 阿部恵子氏）が考案した数式アルゴリズムを使って予測し、使用者へカビ発生予報として通知することでカビ発生前の換気を促し、屋内環境の改善向上をはかります。



MFS画面イメージ

天井、板壁など、多くはカビが目に見える状態となってから防カビ剤などを塗布してカビの防止、設備の保護をはかりますが「カビ発生予報クラウドシステム MFS」により、カビ発生の目安となるデータ検知が可能となることから、防カビに必要な修繕費用を最小限に抑制し、企業の建物維持費用の低減に寄与します。

今後 TED では、実証実験を行った後、食品工場、公共施設、病院、住宅、マンション、店舗、各種工場などをターゲットに2015年1月頃からアプリケーションサービスを開始する予定で、今後5年間で60億円のサービス販売を予定しています。

東京エレクトロン デバイス株式会社について

東京エレクトロンデバイスは、半導体製品やビジネスソリューション等を提供する「商社ビジネス」と、お客様の設計受託や自社ブランド商品の開発を行う「開発ビジネス」を有する技術商社です。

URL : <http://www.teldevice.co.jp/>

< 本件に関する報道関係からのお問合せ先 >

東京エレクトロン デバイス株式会社 広報・IR室 堀田・福井

Tel : 045-443-4005、Fax : 045-443-4050

お問い合わせフォーム : http://www.teldevice.co.jp/contact/news_release/index.html

< 製品に関するお客様からのお問合せ先 >

東京エレクトロン デバイス株式会社

海外事業部 グローバルビジネスデベロップメント部 八幡・新谷

Tel : 045-443-4030、Fax : 045-443-4057

Email : Eco-info@teldevice.co.jp

このニュース リリースに記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。